

B 型肝炎抗体検査結果、ワクチン接種時の領収書の提出について

大阪大学大学院博士前期課程助産師教育コースの入学準備についてお知らせします。

保健学専攻では、「医療関係者のためのワクチンガイドライン 第 3 版」(2020 年発行)に沿ってワクチン接種の指導を行っています*。合格発表時に通知しました「B 型肝炎抗体検査およびワクチン接種」に関して、入学後に、抗原・抗体検査の結果とワクチン追加接種分の領収書を撮影またはスキャンしたものを授業支援システム「CLE」から提出していただきます(提出先は入学後にご案内します)。抗体検査の結果は全員提出ですが、ワクチン接種の領収書は、抗体検査の結果、ワクチン接種の対象となる方のみ提出となります。

入学年度の 10 月より病院実習を行います。抗体を保有していない学生は病院実習が認められない場合がありますので、ご注意ください。なお、入学後の 5 月には、B 型肝炎ワクチン接種後の抗体産生の有無を確認する検査を行います。

ご不明な点がございましたら、保健学科教務係(E-mail: vaccine@sahs.med.osaka-u.ac.jp メール件名は「問い合わせ:B 型肝炎抗体検査結果について」としてください。)にご連絡ください。

【参考:合格発表時の通知内容「入学前の B 型肝炎抗体検査、ワクチン接種のお願い」から抜粋】
当コースに入学される学生には、入学前に B 型肝炎抗体検査とその結果に応じたワクチン接種を義務付けています。下記①～④を実施していただきますようお願いいたします。

- ① B 型肝炎の抗体検査を近隣の病院で受けてください。
- ② HBs 抗原が「陰性」※1かつ HBs 抗体が「陰性(<10mIU/mL)」の場合は、B 型肝炎のワクチン接種を 1 回受けてください。HBs 抗体検査の結果が「陽性(≥10mIU/mL)」の場合は、その後の対応は不要です。
- ③ ②でワクチンを接種された方は、その 1~2 か月後に抗体検査を受けてください。その結果、HBs 抗体が「陰性(<10mIU/mL)」の場合は、さらに 2 回の B 型肝炎ワクチンを追加し、その 1~2 か月後に抗体検査します※2。
- ④ 追加の 2 回のワクチン接種後の抗体検査の結果が「陰性(<10mIU/mL)」の場合は、ワクチン不応者として、血液体液曝露時には嚴重な対応を行うことになります。結果が「陽性(≥10mIU/mL)」の場合は、その後の対応は不要です。

※1 ①の検査で HBs 抗原が「陽性」の場合は、治療や経過観察の対象となりますので、早急に受診し、対応をお願いします。

※2 追加の 2 回のワクチン接種をしてから 1~2 か月後の抗体検査は、入学後の 5 月に大学が実施する検査を受けてください(ご自身での抗体検査は不要です)。

①の抗体検査後に追加の B 型肝炎のワクチン接種が必要な場合、3 回終了するまでに少なくとも 6 か月がかかります。①の抗体検査はできるだけ早く受けていただき、ワクチン接種が必要な場合には、2024 年 4 月上旬までに 3 回のワクチン接種が全て終了するように、スケジュールを調整してください。なお、③で追加の 2 回のワクチンが必要な場合、2 回の接種間隔は 4~5 か月ですので、ご注意ください。

抗体検査結果およびワクチン接種の領収書(接種証明)の控えは、入学後すぐに教員に提出していただきます。

以上